

東京大学駒場博物館所蔵品展

饅頭・柏・オリーブ

山口進の画業と交友



二〇一四年三月三日（月）～四月二一日（金）

開館時間…一〇時～一八時（入館は一七時三〇分まで）

休館日…土・日・祝日

主催…東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部 駒場博物館

山口進は東京大学教養学部の正門をデザインした人物です。柏の葉とオリーブの意匠、旧制第一高等学校の校章が埋め込まれた正門は、昭和13年に完成しました。

一箱の饅頭をきっかけとして、大正14年末から一高に勤務していた山口は、この時既に版画家としても活躍していました。国内外の版画展等に出品するなど、精力的な活動を行っており、その実力を買われ、起用されたものと思われまます。

山口の携わった堅固な造りの堂々たる正門は、それ故に一高生の伝統を揺るがす事件をも巻き起こしました。

一高職員、山口進の画業と交友を通して見えてくる、一高の様相をお楽しみ下さい。

問い合わせ先 東京大学駒場博物館

住所…一五三ー八九〇二 東京都目黒区駒場三ー八一ー

電話…〇三ー五四四一六ー三九 FAX…〇三ー五四四一四九二九

ホームページ…<http://museum.c.u-tokyo.ac.jp>



山口進「猫」昭和十三年